

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

家庭		東京書籍
総評		<p>巻頭で、児童が主体的かつ対話的に学習できるよう、二年間の学習の流れを示し、自分の成長を視覚的に振り返ることができるように工夫されている。発展的な学習に関連して、キャリア教育にもつながるような資料が掲載されていて、深い学びに向けて授業改善が図れるように配慮されている。</p> <p>大型本なので、児童机の上に広げると作業スペースを確保しにくい。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が問題解決をしながら、主体的・対話的に学べるように、学習過程が明らかになるような工夫がされている。③ ○ 巻末の「安全に実習しよう」では、衛生面、器具の取り扱い、地震と安全面への注意喚起がコンパクトにまとめられており、安全な生活への配慮がなされている。①
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入部分でステップ1・2・3と表記し、学習の流れがわかるようになっている。見通しをもって学習を進めることができる。① ○ 発展的な学習につながる課題がたくさん取り上げられており、自分で課題を見つけ出したり、生活をよりよくしようとチャレンジしたりできるよう工夫されている。衣食住に関する実践的な活動への意欲を高めるよう配慮されている。① ○ P.64のミシンのイラストが大きく、カバーやコントローラーまでとりあげられており、児童にはわかりやすい。技能を身につけることができるように配慮されている。② ○ 巻頭に「家庭科はあなたの生活をよりよく変えていく教科です。」と大きく明示されており、生活をよりよくしようと工夫することについて学習する児童にわかりやすく表現されている。①
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ A4サイズで大きいいため、イラストや写真、文字が大きくて児童にわかりやすい。教科書を見ながら家庭で実践する際には活用しやすいなど技能習得への配慮がなされている。③ ○ 左利き児童への配慮も十分になされており、ユニバーサルデザインの観点からも児童にとって使いやすいものになっている。④
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学びの気づきを積み重ねて学習を進めることができるように、ストーリー性を意識して単元が配列されている。① ○ 巻頭の見開き部分に「成長の記録」を記入するページがあり、学習内容や過程を振り返ることができるよう工夫されている。②
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の伝統」や「プロに聞く」など専門的な視点で迫る資料がふんだんに配置されており、児童の視点から学習意欲を引き出す工夫がされている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元ごとに、学習のめあてに迫る視点が示されているが、児童自らが論理的に思考・判断し豊かな表現力をはぐくむにはいていねいすぎて、課題が残る。④
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ P.66 ミシンの使い方には「片づけ」がない。⑤ ○ P.69「折はしの始末 三つ折り」で「①ぬいしろを半分に折る」では布の厚みが考慮されていない。①
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 判型が大きく実習時には取り扱いにくい。②
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くのマークが表示されており、難しさを感じる。②
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えを書き込めるワークシート的なものも用意されているが、枠が小さいため実用的ではない。配慮が必要である。②

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

家庭		開隆堂出版
総評		<p>新学習指導要領の教科目標に沿うように、日常生活の中から問題を見だし、課題解決をし、実践につなげていけるような単元構成になっている。児童が主体的、対話的な学びを深めることができるよう、発展的な学習につながるヒントがたくさんある。また、教科の導入部分で家庭科という教科の特長でもある教科横断的なつながりがわかりやすく表示されていて、2年間の学習の見通しを立てることができる。児童が主体的に学習できるようにと単元名が「なぜ～だろう」という問いかけの形式になっているが、「なぜ」が続くので、「やってみたい」という意欲の喚起にはつながりにくい。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「公共の精神を学び、豊かな人間性と創造性を備え、グローバル化が進む国際社会」について、多様な年齢や人種、障がいを持つ人がイラストに登場するなど、資料には社会の多様性が示されている。① ○ 最終の「ことばのページ」に英語表記があったり、P.81「マネジメント」やP.128「プログラミング」ということばが出てきたりするなど、時代を切り拓く児童の育成について工夫されている。②
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童に自分の生活を振り返らせ、そこから気づきや課題を見だし、計画を立てて、課題解決に取り組むというプロセスの繰り返して学習が進められるようになっている。児童は実践的・体験的活動を重ねることで自分の生活をよりよくしようとするように配慮されている。①③
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科の特性から、教科横断的な内容も含め、教科書には非常にたくさんの情報が詰め込まれているが、わかりやすく親しみやすい表記が工夫されており、児童の視点に立ったものになっている。①③
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冒頭部分にこれまでに学習してきた事柄とのつながりや、二年間の学習のシラバスが案内役のクローバーのキャラクターとともに描かれていて、児童が見通しをもって学習を進めることができるよう配慮されている。①②
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料には写真が多く使われ、児童が興味を持ち「やってみたい」と思うような工夫がなされている。巻末の「いつも確かめよう」は原寸大の写真が用いられ、児童がイメージをもって学習できるよう工夫されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「未曾有の災害の発生等に立ち向かう『生き抜く力』を備え」については教科の特性からまだまだ迫れる可能性がある。②
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ P.47「三つ折りぬい」の手順で「ぬいしろを半分に折る」とあるが、布の厚さを加味する必要があるのではないかと。② ○ P.60「買い物の仕組みって何だろう」で消費税に触れられてない。⑤
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元名に対してめあてのフォントが小さく、イラストや写真ばかりに目が行ってしまう。②
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元のめあてが黄色い吹き出しに書かれているが、常体と敬体が混在している。① ○ 5年生の学習内容が多すぎる。①
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ P.33「生活に生かそう」で「自分の持ち物で『もったいない』物はないか見直す」の意図がわかりにくい。② ○ P.52左下の写真が何かわかりにくい。①